



時代をかけめぐる女性達

() 内は請求記号です。

人生ムダなことはひとつもなかった

-私の履歴書-

はしだすがこ
橋田寿賀子/著 大和書房 (F1ハシ)

(脚本家)

「もうだめかな」と思った時に大切な出会いがあった。仕事もお金もなく時間だけはたっぷりあった時に、日本各地を旅した経験が、国民的ドラマ「おしん」につながる。著者の幼少期から仕事そして結婚生活などを日経新聞の人気コラムよりまとめた本。

楽しく百歳 元気のコツ

よしざわひさこ
吉沢久子/著 新日本出版社 (F1ヨシ)

(生活評論家)

年をとってから人生を楽しめるかどうかは、自分次第。何かにつけて「私はもう年だから・・・」という人がいるが、年齢を重ねることによって、逆によく見えることがある。世の中の動きや自分の気持ちにアンテナを張ることの大切さと生きるヒントが満載。

人生は美しいことだけ覚えていればいい

さとうあいこ
佐藤愛子/著 PHP研究所 (F1サト)

(小説家)

波瀾の多い人生の中で、打たれ強さという力を身につけることができたという著者。「苦しいことがきた時、逃げようとすればもっと苦しくなりますよ。困難は逃げないで受け止める方が楽なんです」。その言葉がその後の人生を決めた。この世で起こることはすべて修行。元気に生きる人生論。

桃紅一〇五歳好きなものと生きる

しのだとうこう
篠田桃紅/著 世界文化社 (F1シノ)

(美術家)

墨を用いた抽象表現という新たな芸術を切り拓いた著者は、「ものは、それぞれの個人的な歴史と今を繋げてくれています」と語る。ものにまつわるエピソードやものに対する思いを率直に、時に厳しく語っている。家族との思い出の品もちりばめられていて興味深い。

辰巳芳子のことば -美といのちのために-

たつみよしこ
辰巳芳子/著 小学館 (596.11)

(料理研究家)

料理を通して、食と命を考えてきた著者が、「日本の美しさとは何か」「日本人が大切にしなければならない美とはいかなるものか」を、鋭く分析。人の営みにとって風土と無関係なことは何ひとつない。あらゆる「美」にも風土の関わりがある。美の本質を考えさせられる一冊。

100歳の幸福論

-ひとりで楽しく暮らす、5つの秘訣-

さきもとつねこ
笹本恒子/著 講談社 (740.21)

(写真家)

日本初の報道写真家である著者は96歳まで自分の年齢を一切言わなかった。それはなぜか？一人でも楽しく暮らす5つの秘訣は、日々の私達の暮らしのなかでも、とりいれることができる。ちょっとした工夫や努力によって人生はバラ色に輝く。試してみませんか？

書名	著者	出版社	請求記号
人生は一本の線	しのだとうこう 篠田桃紅	幻冬社	F1シノ
恒子の昭和 -日本初の女性報道写真家が撮影した人と出来事-	ささもとつねこ 笹本恒子	小学館	748サ
笹本恒子の「わたくしの大好き」101	ささもとつねこ 笹本恒子	宝島社	740.21
97歳テル子先生人は好奇心の数だけ生きられる -元気の処方箋-	きじま 貴島テル子	講談社	281キ
99歳からあなたへ -いつまでも変わらない大切なこと-	よしざわひさこ 吉沢久子	海竜社	F1ヨシ
101歳。ひとり暮らしの心得	よしざわひさこ 吉沢久子	中央公論新社	F1ヨシ
命あれば	せとうちじゃくちょう 瀬戸内寂聴	新潮社	F1セト
悔いなく生きよう	せとうちじゃくちょう 瀬戸内寂聴	祥伝社	F1セト
ガムシャラ人間の心得	さとうあいこ 佐藤愛子	海竜社	F1サト
志村ふくみの言葉 白のままでは生きられない	しむら 志村ふくみ	求龍堂	753
志村ふくみ -いのちを織る-	しむら 志村ふくみ	東京美術	753.087
辰巳芳子ご飯と汁物 -後世に伝えたい食べ物-	たつみよしこ 辰巳芳子	NHK出版	596
食に生きて -私が大切に思うこと-	たつみよしこ 辰巳芳子	新潮社	281タ
恨みっこなしの老後	はしだすがこ 橋田寿賀子	新潮社	F1ハシ
私の仕事 -国連難民高等弁務官の十年と平和の構築-	おがたさだこ 緒方貞子	草思社	369.38
昭和とわたし -澤地久枝のこころ旅-	さわちひさえ 澤地久枝	文藝春秋	910.268サ
コロナという「非日常」を生きる	そのあやこ 曾野綾子	ワック	F1ソノ
人間の道理	そのあやこ 曾野綾子	河出書房新社	F1ソノ

※このリストは著者の生年月日順に並んでいます※